法制研究所 入会手続（入室試験は実施しません）

諸費用

●入会費　入会初年度のみ　**¥10,186**（税抜 9,260円）
●年会費　1・2年生　**¥5,093**（税抜 4,630円）

※法学部在学生には所属学部より年間上限15,000円、政治経済学部在学生には所属学部より年間上限20,000円の助成を予定しています。

上記以外の学部においても助成対象になる場合がありますので、所属学部事務室にお問い合わせください。
申請は入会手続後、所属学部事務室にて取り扱います。
※振込受領書の原本が申請に必要となります。

〈受講希望者のみ〉
●憲民刑入門講座（憲民刑3科目セットの場合）**¥82,600**（税込）を下記の口座にお振込みください。
※講座受講料と併せて、入会費（入会初年度のみ）と年会費をお振込みください。　※その他の講座受講料は、講座受講料欄（本パンフレットP7・9・10）を参照。

振込手続

●銀 行 名 **みずほ銀行 神田支店**
●口座番号 **普通預金 1104480**
●口 座 名 **学校法人明治大学 国家試験指導センター**

注意　氏名の前に必ず「HA25」を記載してください。
記載例　**HA25メイジ タロウ**

申し込み事務手続

諸事情により、下記日程に申し込み手続きが困難な学生は和泉研究室事務室へお問い合せください。

〈法学部生〉
1.諸費用を銀行振込時に受け取った振込明細書に①～⑥の情報が入っていることを確認してください。
①利用した金融機関名、②振込日、③上記の国家試験指導センターの口座情報、④振込依頼人名（HA25+氏名）、⑤振込金額、
⑥（インターネットバンキング利用の場合）「取引完了」「手続き済」等、振込が完了したことがわかる文言
【注意事項】
●残高、個人情報は塗りつぶしてください。
●インターネットバンキング利用の場合、スクリーンショット画像が1枚におさまらなければ、複数枚提出してください。
●iPhoneの方は、ファイル形式が「.heic」となる場合がありますが、事務端末で開くことができないため別の形式（.png、.jpeg、PDF等）に変換してください。

2.Oh-o!Meijiのアンケート機能を利用して申込み期間内に手続きしてください。
Oh-o!Meijiログイン後、「グループ」→「法学部1年生」または「法学部2年生」→「アンケート」にある「2025法制研究所入室申込フォーム」から必要事項の入力と振込依頼書の画像を提出してください。
事務室で入力内容・振込依頼書の確認が完了しましたら、アンケートの「コメント欄」にて連絡しますので、必ず確認してください。不備がある方は速やかに対応してください。
コメント欄にて、手続き完了の連絡があった方で、自習室とロッカーの利用を希望される方は、窓口で手続きしてください。なお、ロッカーは抽選になります。

〈他学部生〉
和泉研究室事務室までお問い合わせください。

●申込期間　【対象】継続者を含む全ての学生　【日程】4月4日（金）～17日（木）〈必着〉

【個人情報の取り扱い】	提出・送信いただいた個人情報は、本学「個人情報の保護に関する規程」に基づいて適切に取扱います。こちらの情報は法制研究所における講座運営のために利用します。予めご了承ください。

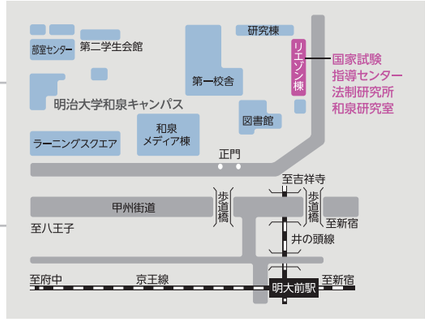
申込手続、運営等についてのお問い合せ

明治大学国家試験指導センター法制研究所

https://www.meiji.ac.jp/netsc/legal_lab/index.html

和泉研究室
TEL.03-5300-1459
〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 明治大学リエゾン棟2階
［開室時間］月～金曜日 9:30～17:30

駿河台研究室
TEL.03-3296-4435
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学猿楽町第1校舎1階
［開室時間］月～金曜日 9:30～17:30／土曜日 9:30～13:00



地図:和泉研究室

明治大学国家試験指導センター法制研究所

INSTITUTE RESEARCH EDUCATION LAW 2025

明治大学 法制研究所

2025年度法学学習支援・各種試験対策講座

ガイダンス開催［講座説明会］
法制研究所・辰巳法律研究所 共催

2025年4月4日（金）
10:30～11:30
明治大学 和泉キャンパス
第一校舎 2階 211教室

学長　上野 正雄

「権利自由、独立自治」の担い手に

明治大学は、144年前に創立された法律学校にその歴史を発します。江戸時代が終わってほんの10数年しか経っていない1881年です。この時期に、「権利自由、独立自治」を旗印に私立の法律学校を立ち上げた20代の3人の創立者達の心意気の高さを想像してみてください。その心意気の中には、明治維新後もなお権利自由も、独立自治も不十分であり、これからそれを追求していかなければならないという使命感があったんだろうと私は思っています。さて、それから144年が経過した現在、日本の、そして世界の「権利自由、独立自治」は既に実現され、完成されたでしょうか。否です。この間、今に至るまで非常に多くの粘り強い努力や悲惨な犠牲がありましたが、依然として実現できていません。しかし、放棄することはできません。人間社会が存する限り、日本国憲法がいうように「不断の努力によつて、これを保持しなければならない」（12条）のです。明治大学も創立以来、この「権利自由、独立自治」を建学の精神として営々と引き継ぎ、それを実現すべく、存在しています。

明治大学は、これを「個人の権利や自由を認め、学問の独立を基礎として自律の精神を養う重要性を示したもの」と理解していますが、これは、権利自由の自律的な主体である一人ひとり、つまり多様な「個」の尊重と不可分の関係に立ちます。その中で、明治大学は、例えば、女性が法曹界から排除されていた時代に、女性に門戸を開き、日本初の女性弁護士となった久米愛、三淵嘉子(日本初の女性裁判所長)、中田正子を輩出しました。
皆さんにも、それぞれが日本や世界の現状を知る一人の大人として、そして、明治大学の学生、卒業生として「権利自由、独立自治」の実現、多様な「個」の尊重に向けて、それぞれの場で活躍をしていただきたいと願っています。

さて、法曹です。裁判官、検察官、弁護士は、「権利自由、独立自治」の実現、多様な「個」の尊重に向けて、端的にコミットできる職業だと思います。私自身の裁判官、弁護士の経験からしても、具体的な事件、具体的な人に直接関わるということは、自分の主体的な活動の結果が良くも悪くも直ちに現れることであり、非常に遣り甲斐を感じられる、そして刺激的なことだと実感しています。是非、まずは、興味を持っていただきたいと思っています。

明治大学では、法曹を志望する学生、卒業生を支援するために、法制研究所という大学直属の教育機関を設置しています。ここでは、法学部等の教員や現役の弁護士達が中心となって、全学部の学生を対象に、合理的なスケジュールの下で、親身な指導が行われ、毎年多くの司法試験、司法試験予備試験、法科大学院入学試験の合格者を輩出しています。
法曹に興味を持ったら、半世紀前の私のように、是非、法制研究所の戸を叩いてみてください。それが、皆さんの人生が変わり、社会が変わるきっかけになるかも知れません。
皆さんの人生に、皆さんが生きる将来の社会に、幸多かれ。

法制研究所長　有賀 恵美子

法制研究所で法的思考力を身につける

法制研究所の歴史は古く、わが明治大学出身の法曹であれば、その多くが法制研究所に在籍し、また在籍しないまでも何らかの形で法制研究所との関わりを持った経験があると思います。
もっとも、その長い歴史の中で、法制研究所による受験サポートにも変化したところがあります。既に30年近く前のことになりますが、辰巳法律研究所との提携講座の開始です。司法試験で必要とされるのは、基本的な法律知識を前提とした上での法的な理解力、思考力、判断力であるところ、法制研究所に入れば、1・2年次に基本7科目の入門講座を受講することにより、その後の土台となる基本的知識を一通り修得することができます。学んだ内容を反復・確認するために、短答式テストをはじめとするOption講座も用意されており、しかもこれら全てを和泉キャンパスで受講できることも提携講座ならではの魅力です。

他方で、昔から変わらない法制研究所によるサポートの特長は、本学出身の弁護士や司法試験合格者が指導するゼミや添削です。司法試験で問われているのは、知識の有無自体ではありません。司法試験法でも、その評価においては、知識を有するか否かの判定に偏ることなく、法律に関する理論的かつ実践的な理解力、思考力、判断力等の判定に意を用いなければならないことが明記されています。知識は多いほうが思考が広がりやすくなる面があることは否めませんが、理解を伴わない知識はかえって思考の妨げになります。しかし、特に初学者の頃は、講義を受け身で受講して一人で思考しているだけだと、自分がその知識を本当に理解しているのかどうか、そもそも理解するとはどういうことなのかにも気付かないことがあります。法制研究所の指導員による少人数のゼミに参加して思考訓練を重ね、答案練習でアウトプットの訓練とそのフィードバックを受けることにより、自分が知っていると思いこんでいた曖昧な知識について、正しく理解して思考を深めることができます。しかも、分からないことも気軽に質問できる環境が整っているのです。みなさんと同じ本学出身の指導員による親身な指導により、理解を積み重ねて思考を深めることができること、これが法制研究所の最大の強みです。

司法試験に向けてどのように勉強してきたかということは、どのような法曹になるかということに直結していると思います。また、法曹以外の道を選択する場合であっても、それまでの思考訓練はみなさんの今後の糧になります。法制研究所のサポートを積極的に活用して、みなさんの今後の人生に役立てて下さい。

[司法試験とは]

裁判官、検察官、弁護士となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定する試験です。裁判官、検察官、弁護士になるためには、法科大学院に進学・修了もしくは司法試験予備試験を通過して、司法試験に合格することが必要です。

司法試験の方法

短答式試験と論文式試験により行われます。短答式と論文式は同時期に行われ、受験者全員が両方の試験を受けることになります。司法試験の合格者の判定は、短答式試験で合格に必要な成績を得た者について、短答式試験及び論文式試験の成績を総合して行われます。2026年から、従来の手書き方式からパソコンを利用して回答する方式（CBT方式）への変更が予定されています。

司法試験の試験科目

短答式試験

基本的事項に関する内容を中心として出題されます。

憲　法
民　法
刑　法

論文式試験

比較的長文の具体的な事例を出題し、法的な分析、構成及び論述の能力が試されます。

公法系科目	憲法、行政法
民事系科目	民法、商法、民事訴訟法
刑事系科目	刑法、刑事訴訟法
選 択 科 目	倒産法、租税法、経済法、知的財産法、労働法、環境法、国際関係法（公法系）、国際関係法（私法系）のうち1つを選択

論文式試験			短答式試験
1日目	2日目	3日目	4日目
選択科目 3時間	民事系科目第1問 2時間	刑事系科目第1問 2時間	憲法　50分
公法系科目第1問 2時間	民事系科目第2問 2時間	刑事系科目第2問 2時間	民法　75分
公法系科目第2問 2時間	民事系科目第3問 2時間		刑法　50分

司法試験の受験資格

司法試験の受験資格は、法科大学院に進学・修了した者、あるいは司法試験予備試験に合格した者です。

〈受験期間〉
- 法科大学院修了者は、修了後の最初の4月1日から5年間
- 法科大学院在学中に受験した者は、最初に受験した日が属する年の4月1日から5年間
- 司法試験予備試験受験者は、予備試験の合格発表の日後の最初の4月1日から5年間

司法試験予備試験とは

受験資格や受験回数制限はなく、合格者には法科大学院修了者と同等の司法試験受験資格が与えられる試験です。短答式試験に合格→論文式試験に合格→口述試験に合格、と段階的に進む点に特徴があります。司法試験合格への最短ルートです。

- 短答式試験　憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、一般教育科目
  幅広い分野から、基本的な事項に関する内容が多数出題されます。
- 論文式試験　憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、選択科目、法律実務基礎科目
  短答式試験に合格した者に対し、基本的な知識、理解及び基本的な法解釈・運用能力並びにそれらを適切に表現する能力を問います。
- 口述試験　法律実務基礎科目
  論文式試験に合格した者に対し、法的な推論、分析及び構成に基づいて弁論をする能力を有するかどうかを判定します。

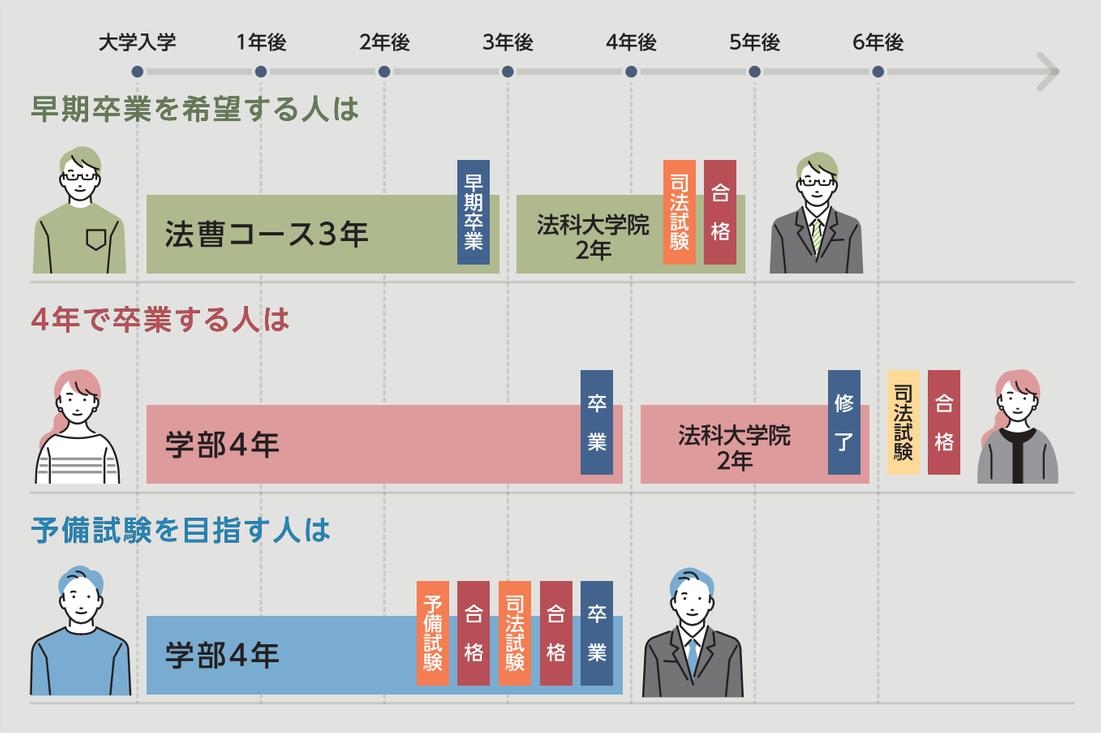
予備試験対策答案練習講座を開催します。P10をご覧ください。

※最新の試験科目、日程については、法務省のホームページをご確認ください。

CONTENTS

司法試験とは　1
学習支援プログラム　3
和泉研究室運営委員から新入生へ　3
和泉研究室　入室のご案内　4
憲民刑入門講座　6
商訴行政入門講座　8
予備試験対策答案練習講座　10
和泉研究室 室生からのメッセージ　11
駿河台研究室　入室のご案内　12
法制研究所 卒業生からのメッセージ　13
法制研究所 入会手続　裏面

法曹を目指すためのステップ



〈司法試験予備試験〉合格者数一覧（過去3年）　単位／人

	2023年	2022年	2021年
受験者数	9,510	8,806	7,916
合格者数	413	285	315
明治大学	9	5	4

〈司法試験〉合格者数一覧（過去3年）　単位／人

	2024年	2023年	2022年
受験者数	3,779	3,928	3,082
合格者数	1,592	1,781	1,403
明治大法科大学院	25	29	16

3年次早期卒業制度を利用しよう!

明治大学法学部では成績が特に優秀な学生を対象とした早期卒業制度があります。法科大学院・大学院・専門職大学院への進学を希望する者及び司法試験に合格し、早期卒業後、ただちに司法修習生として修習を希望する者は、この制度を利用できます。

法曹コース「一貫教育プログラム」

2020年4月から法曹コース制がスタートしました。この制度は法学部と法科大学院が連携して一貫した体系的な法曹養成教育を実施するもので、最短で、法学部を3年で早期卒業、法科大学院（既修）に進学し2年で修了することが可能です。また、一定の要件を満たすと、法科大学院在学中に司法試験を受験することが可能です。
明治大学法学部は、これまで設置されていた5コース制のうちの「法曹コース」内に「一貫教育プログラム」を設置することで、上記の法曹コース制度を実現しました。
2025年4月現在、明治大学法学部は、明治大学法科大学院のほか、慶應義塾大学法科大学院および中央大学法科大学院と連携協定を締結しています。従来の早期卒業制度のみを利用して法学部を3年で卒業し法科大学院の一般入試を受験することも可能ですが、法科大学院の入学試験で法曹コース修了者向けの「特別選抜」を受験するためには、法曹コースにおける「一貫教育プログラム」を経ていることが必要です。「一貫教育プログラム」の詳細については、法学部ガイダンス資料等を参照してください。

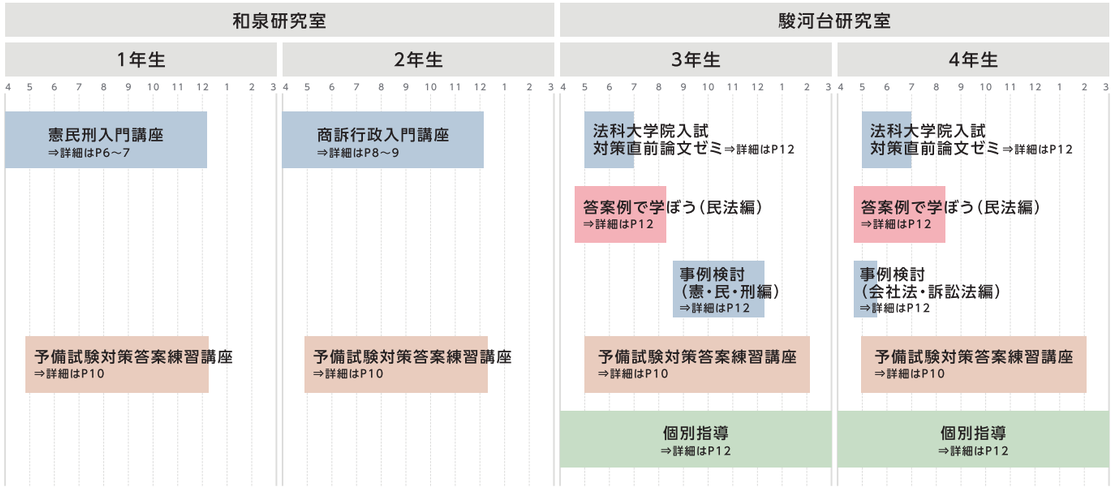
法科大学院入試とは…

各法科大学院で実施される入学試験で、修業年限2年の法学既修者コースと、修業年限3年の法学未修者コースがあります。試験内容および実施方法は各法科大学院により異なりますが、法学既修者コースの場合、法律学の基礎学力の有無を判定する試験が重視されます。法学未修者コースの場合、小論文試験や面接試験がメインになります。

進学実績

明治大学専門職大学院法務研究科／東京大学法科大学院／京都大学法科大学院／一橋大学法科大学院／慶應義塾大学法科大学院／早稲田大学法科大学院／中央大学法科大学院

[学習支援プログラム]



明治大学法制研究所 運営委員

運営委員って?

辰巳法律研究所と提携している入門講座の運営補助を中心に、法制研究所が主催する各種講座・行事等の運営補助や、和泉研究室に設置された自習室等の片づけ等を分担、協力して行います。運営委員は1年生6名、2年生4名ずついます。運営委員となるからには勉学に励むことはもちろん、他の室生の模範となるよう期待しています。

運営委員に興味を持った方は、ぜひお気軽に和泉研究室までお越しください。
（募集の詳細は、ガイダンス期間中にお知らせします。）

STUDENTS MESSAGE ～2024年度運営委員から新入生へ～

三上 紋栞
Moka Mikami

法曹コース
神奈川県立平塚江南高等学校出身

運営委員になろうと思ったきっかけは、受講料が実質無料になることと、友達も応募していたので一緒にやれればなと思ったことです。運営委員の業務は、主に講座の準備と片付けです。具体的には、撮影のためのカメラを設置したり、資料を配ったり、受講証に出席のハンコを押したりします。運営委員は全講座出席しなければならないため、ほぼ強制的に勉強をする時間ができたことがとてもよかったと思います。また、運営委員をしていてよかったと思えることは、運営委員同士で仲良くなれたことです。仲のいい友達がいるだけで勉強のモチベーションにもつながるし、法制研の授業以外のことでも相談したりすることができたので、それもよかったと思います。

西堀 颯人
Hayato Nishibori

法曹コース
東京都立八王子東高等学校出身

大学入学前から法曹を目指していたので、法制研の存在を知り入室することを決めました。明治大学は、法制研の他にも辰巳法律研究所と提携していたりと法曹を目指す人にとってはこれ以上ない環境が整っていると思います。その中で法制研を選んだのは、伊藤塾などの外部の予備校に比べ金銭面での負担が少ない上、現役の弁護士の先生から対面で講義を受けることが出来るからです。また、運営委員に立候補した最大の理由は入門講座受講料相当額の謝礼が出るからというものでしたが、結果的に自身のモチベーション維持にも繋がったので良かったと思います。憲民刑入門講座は一年で三法を取り扱うので、とても速いペースに感じました。しかし、天野先生が重要な点をかいつまんで説明してくれるため、一年を通して三法における基礎程度は身についたのではないかと思います。週2日・1日3時間の講座に参加するには集中力と体力が必要になってきますが、入門講座を受けようと思っている人はぜひ頑張ってみて下さい。

和泉研究室 Izumi Laboratory

法制研究所和泉研究室とは

法制研究所は、法科大学院進学・司法試験および予備試験受験を目指す本学の学生のために、若手弁護士を中心とした後進指導、各種の講座の実施および自習室などの学習環境の提供などを行っています。
そして、和泉研究室は、学部1・2年生のために、若手弁護士等による指導および辰巳法律研究所との提携講座の実施並びに自習室等を提供します。学部における法学学習を支援するだけでなく、法科大学院進学や予備試験受験に向けた基礎的理解ができるようにバックアップします。

和泉研究室に入室するメリット

法科大学院進学、予備試験受験ひいては司法試験受験に向けた勉強の拠点として、勉強に専念できる環境を整備しています。
また、法科大学院進学や予備試験受験・法曹を志す学生が集まり、緊張感を持って切磋琢磨する環境に身を置くことで勉強の質・量双方を確保できます。さらに若手弁護士等による指導を受けることは、法的理解を深め、実践的な能力を身につけるためにも大変有益です。法科大学院進学や予備試験受験・法曹という同じ道を志す者同士が交流する機会があり、法科大学院進学・予備試験・司法試験に関する情報を共有することができるとともに、一生の財産ともいえる仲間も増えることでしょう。

和泉研究室主催の主な指導企画等

※2024年度の実績です。2025年度の企画は別途お知らせします。

春の交流会

概　　要：大学生活が始まり期待に胸が膨らむと同時に友達ができるか不安を抱いていると思います。グループになって、ゲームやクイズに挑戦。法制研究所のメンバー同士が仲良くなれるような交流会を企画しています。法律の勉強は大変ですが、同じ苦労を分かち合える仲間となら乗り切れるはず。みなさまの参加をお待ちしています。
対　　象：1年生
実施日程：5月～6月
開催場所：和泉キャンパス内

司法試験合格者座談会

概　　要：明治大学OB・OG司法試験合格者による座談会を開催します。合格のために何をしたか？　学生時代の勉強方法や量は？…等など、ここでしか聞けない話がきっと聞けます。先輩合格者へ直接質問することも可能です。（場合によっては、予備試験合格者も登壇します。）
対　　象：1年生～4年生
実施日程：12月～1月
開催場所：和泉キャンパス内

勉強方法解説講義

概　　要：夏期休暇中にこれまで学んだ知識を復習したり、演習したりするのに役立てるための特別講義です。民法の論文問題または択一式試験問題を題材に、論文や択一問題を解くための勉強方法や解き方、復習方法を解説します。
対　　象：1年生～2年生
実施日程：8月
講義形式：対面

室生特典

- 和泉研究室主催の指導企画・交流企画や法学部と共催の講座（詳しくはP10）を受講できます。
- 自習室、図書が無料で利用できます。
- 自習室の個人ロッカー（鍵付）を無料で利用できます（抽選）。
- 辰巳法律研究所との提携講座（詳しくはP6～P10）を割安で受講できます。
- 室員同士の親睦を深める場として、レクリエーション等を行う交流会の開催を予定しています。
- 司法試験予備試験・予備試験短答式試験に合格した学部生及び司法試験合格者に対して報奨金を授与します。

施設内容

自習室
自由席制の自習室（無料）があります。土日祝日を含め利用できます。

図　書
学習で必要な最新版の基本書・参考書・問題集、その他雑誌や読み物が配架されており、室生は自由に利用できます。

ロッカー
教材を置いておくことができます（抽選）。

Q1 法科大学院進学、予備試験受験を考えているのですが、1年生から勉強を始めないとだめでしょうか？

大学1年から憲法・民法・刑法の勉強を始める必要があります。

法科大学院に未修者として入学すると、憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法の基本7科目の知識を短期間で習得しなければなりません。応用科目、発展科目、実務科目など、学習する負担は大変大きいものとなります。また、既修者の場合、基本7科目を習得していることを前提に講義が行われます。そのため、学部時代に7科目の基礎知識と論文作成力を身につけておくことが求められます。また基本7科目は予備試験の試験科目になっています。この負担は大変に重いため、大学1年から憲法・民法・刑法を始めた方が良いでしょう。

Q2 大学の勉強と両立できますか？

法学部の授業を先取りするところもあり、両立はもとより、役立ちます。

法学部の定期試験は、基本的に法科大学院入試や司法試験および予備試験と同じ方向を向いています。入門講座の勉強は大学での定期試験の準備を進めているようなものです。入門講座を受講すれば、大学の授業との相乗効果で法律学の理解が促進されます。しかも、大学内の教室で実施されますので、受講料は安く、予備校に通う場合の通学時間や交通費も必要ありません。
また、学年に対応したさまざまな和泉研究室主催の無料・割引講座があり、基礎力を固め、目標に向かって実践的かつ応用的な能力へと高められるように様々な形で室生をバックアップします。

Q3 一般的な予備校の講座と、法制研究所の入門講座はどこが違うのですか？

学内活動に合わせたカリキュラムとなっており、先輩合格者による指導・支援も身近に感じられます。

入門講座は、実施する曜日や夏休みなど、明大生の学内活動サイクルを基準にしてカリキュラムを組んであり受講しやすくなっています。駿河台研究室へ着実に段階を踏めるようになっているのです。また、近くに同じ目標を持った仲間がいて一緒に勉強をする機会は、何よりも得難いと思います。さらに法制研究所では、多くの合格した先輩が後輩のために指導役を買って出てくれています。このような環境は予備校では得られません。

Q4 法学部生ではありませんが…受講できますか？

明大生であれば学部・学年を問わず、誰でも受講できます。

法制研究所では広く門戸を開放しています。ですから、学部が違ってもやる気のある明大生にはぜひ参加してもらいたいと思います。法学部生より法学に触れる時間が短い分大変ですが、少しでもよいから毎日法律に触れるように意識的に勉強をしてそれを乗り越えた学生もいます。法科大学院入試・予備試験に限りませんが、主体的な勉強こそが成果を生み、合格を生むのです。「裁判官、検察官、弁護士」を目指して一緒に頑張りましょう。

Q5 進路がまだ決まってないのですが法制研究所に入室できますか？

はい。入室できます。

和泉研究室での講座やゼミ、仲間たちとの交流は、進路について具体的なイメージを形作るうえでも役に立つものとなるでしょう。また憲法・民法等の科目は、司法書士や裁判所事務官等の進路を目指すうえでも必須の知識となります。
※学部卒業生は卒業後4年以内であれば入室可能です。

憲民刑入門講座

1時間当たりの受講料が、外部予備校と比べて、とてもリーズナブルなのは、本学の講座ならでは。
明治大学1～2年次入門講座（憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政）

1年目入門初学者を念頭に置いたカリキュラムで基礎知識をインプット
受講生の視点に立った親身で丁寧な指導
―最初の講義だからこそ、経験豊富な最強の実力講師から学ぶ!

研究者の書いた基本書を中心に初学者も無理なく学習できる入門講座。正課授業の定期試験対策としても役立ちます。

カリキュラムは初学者を念頭に構成され、用語、法律の趣旨といった基礎概念から学習します。週2回の基本講義（インプット主体）で、基礎知識の獲得と定着を図ります。講座は、初学者でも安心して取り組めるように、初学者指導に実績ある講師のもと、教材、講座進行方法等、細部にいたるまで工夫を凝らしています。
法律書は最初なかなか分かりにくいものであり、読むのが嫌になってしまう人も多いのですが、本講座では初学者にも分かりやすい入門書や基本書※をテキストとして、講師が分かりやく説明していきます。講座が終わる頃には、独力で法律書を読み、基本的問題に解答できるようになることを目標とします。法学部のカリキュラムと並行して進行しますので、無駄がなく、学習効果は抜群です。さらに、受講料も学内運営講座ならではのリーズナブルな設定となっており、学生の経済的負担を最小限にとどめます。

担当講師
担当科目：憲法・民法・刑法
辰巳専任講師　弁護士
天野 直樹 先生

概　要

講義時間

通常の講義：17:30～20:30
オンデマンドで実施する場合があります。

講義の進め方

講義では、基本書や「新・スタンダードテキスト（P8）」を基本に、各科目の基本的・体系的理解を進める講義を行います。
科目ごとにシラバスを配付し、シラバスには基本書と「新・スタンダードテキスト」の重点講義ポイントを明記します。
演習として夏期Option講座もあります。詳しくはP10をご覧ください。

基本書（使用教材）

※最新版を各自ご用意ください。

憲法：芦部　信喜『憲法』（岩波書店）
民法：大村　敦志『新基本民法シリーズ』（有斐閣）
刑法：山口　　厚『刑法』（有斐閣）

対象者

法律家を目指す目指さないにかかわらず、勉強をはじめようという意欲ある1年生・2年生が主な対象です。法学部以外の学生も歓迎します。

実施会場

明治大学和泉キャンパス
〈火曜日・木曜日〉第一校舎001教室
※但し、都合により、時間・場所が変更となる場合がございます。

無料体験受講

4/10（木）の体験講義は、講座の申込みいかんにかかわらず、すべての方が受講できます。お申込みを迷っている方はぜひ受講してみてください。

「基本書」とは?

高校までと違って、大学での法律専門科目には、「検定教科書」はありません。膨大な種類・数の中からどんな本を読んで専門知識を得るかは各自の自由です。そこで、勉強の基本となる専門書で一定の水準以上のものを、基本書と呼んでいます。厳密な定義があるわけではありません。教科書と同じような意味です。それは研究者（主に大学教授）や実務家が書いた本であり、当該科目の全体を説明するものなので、概説書とも呼ばれます。初学者向けの「入門書」やQ&A形式の「演習書」、単一のテーマを研究した論文を書籍化した「専門書」と区別されることが多いのです。

憲民刑入門講座スケジュール（全日程17:30～20:30）

講座	回数	講義日	曜日
無料体験受講	1	4月 10日	木
民法	1	4月 24日	木
	2	5月　8日	木
	3	5月 13日	火
	4	5月 15日	木
	5	5月 20日	火
	6	5月 22日	木
	7	5月 27日	火
	8	5月 29日	木
	9	6月　3日	火
	10	6月　5日	木
	11	6月 10日	火
	12	6月 12日	木
	13	6月 17日	火
	14	6月 19日	木
	15	6月 24日	火
	16	6月 26日	木

講座	回数	講義日	曜日
民法	17	7月　1日	火
	18	7月　3日	木
	19	7月　8日	火
	20	7月 10日	木
	21	7月 15日	火
	22	7月 17日	木
憲法	1	※7月 22日	火
	2	※7月 24日	木
	3	9月 25日	木
	4	9月 30日	火
	5	10月　2日	木
	6	10月　7日	火
	7	10月　9日	木
	8	10月 14日	火
	9	10月 16日	木
	10	10月 21日	火

※7月22日（火）、7月24日（木）は、教室実施はありません。
オンデマンドのみの実施となります。配信は同日前後を予定しています。

講座	回数	講義日	曜日
刑法	1	10月 23日	木
	2	10月 28日	火
	3	11月　6日	木
	4	11月 11日	火
	5	11月 13日	木
	6	11月 18日	火
	7	11月 20日	木
	8	11月 25日	火
	9	11月 27日	木
	10	12月　2日	火
	11	12月　4日	木
	12	12月　9日	火
	13	12月 11日	木
	14	12月 16日	火
短答知識実力診断テスト		12月 18日	木

受講料（税込）

1年生基本マスターセット【憲民刑3科目セット+判例百選読み方講義（夏期講座①）+短答演習確認テスト（夏期講座②）】		¥88,000
憲民刑3科目セット		¥82,600
科目別	民　法	¥42,600
	憲　法	¥21,400
	刑　法	¥30,900
1年で法律7科目基本マスターセット【1年生基本マスターセット+2年生基本マスターセット】		¥161,900

※セットでのお申込みがお得です。　※「新・スタンダードテキスト」代込み、基本書代別。
※1年で法律7科目基本マスターセットは憲民刑入門講座と商訴行政入門講座を同時に受講するコースです。（週4回）
※上記の金額とは別に、入会費および年会費が必要です。

入門講座には積極的に学習を進めたい方のために、「夏期Option」が設定されています。

入門講座は、講義中心の講座であり、論文を書く力を養うために、数回の演習を別途「夏期Option」として用意してあります。演習といっても、受けやすいように、書き方についての講義を先に実施します。正課の授業ではありませんから、成績が残るわけではないので恐がらずに答案を書いてみてください。答案の書き方を覚えることは正課の定期試験対策としても、きっと役に立つはずです。（P10を参照）

短答知識実力診断テスト（科目：憲法・民法・刑法）

あなたの基礎知識の正確性と学習到達度がズバリわかる
このテストは成績を計り他人と順位を争う為のものではありません。点数で評価をするのではなく、あなたの正確な法律知識の有無を判定するためのテストです。達成度のデータは4象限のチャートで示され、今後の学習の方向性を示唆します。

解約について

受講申込後、解約の必要が生じた場合は、和泉研究室まで連絡してください。講座開始前は、実際に支払った申込み金額から、解約金¥5,000を差し引いた金額を、講座開始後は、受講料から受講済部分に相当する受講料及び解約金¥5,000を差し引いた金額を返金します。受講済部分に相当する受講料は、実際に支払った申込金額を基礎に全体回数のうち何回を受講したか（経過分）により算出します。

バックアップ制度

法学学習支援・各種試験対策入門講座の受講生には、最新受験情報の提供をはじめ、さまざまな特典を用意しています。もちろんすべて無料。法曹を志望する明大生のためのアドバンテージです。

欠席してもだいじょうぶ!

欠席フォローサイトOPEN!

欠席してしまった講義は専用サイトからストリーミング視聴できます。他にも講義スケジュールやシラバスの確認、受験に関する最新情報を受け取ることができます。講義で配付したテキストやレジュメは和泉研究室でお受け取り下さい。

受講生へのきめ細かい対応

和泉研究室にスタッフ常駐

和泉研究室にはスタッフが常駐し、受講生への対応を行っています。当講座の申込手続や運営等に関する質問は窓口までお問い合せください。

商訴行政入門講座

1時間当たりの受講料が、外部予備校と比べて、とてもリーズナブルなのは、本学の講座ならでは。
明治大学1～2年次入門講座（憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政）

実務経験から具体例を挙げながら丁寧に指導、2年目入門は実務を知り尽くした講師から学ぶ!

実感の沸きにくい商法や訴訟法も実務体験を交えながら指導するので理解度がアップ! 行政法も一気に学習!学部講義と相乗効果が得られます。

1年目の憲民刑入門講座同様、カリキュラムは初学者向きに構成され、学習支援・各種試験対策という目的に沿った基本的内容の授業が展開されます。商法や訴訟法といった科目は、技術的な面が強く、なかなか具体例を実感できないものですが、本講座では憲民刑入門講座同様、実務経験のある講師が講義をすることで学部講義とはひと味違った、実務の体験談等を踏まえた臨場感を感じることができるでしょう。加えて、これも取っつきにくいといわれる行政法を短時間で一通り講義しますので、学部講義に取り組む際、理解度はアップするはずです。
将来、司法試験予備試験や法科大学院進学を目指す方にとっては、この2年目入門講座に配置された科目をしっかり学習することで他者に大きく差を付けることができるでしょう。

担当講師
担当科目：商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法
辰巳専任講師　弁護士
本多 諭 先生

概　要

講義時間

通常の講義：17:30～20:30
オンデマンドで実施する場合があります。

講義の進め方

講義では、基本書や「新・スタンダードテキスト」をベースに、各科目の基本的・体系的理解を進める講義を行います。科目ごとにシラバスを配付し、シラバスには基本書と「新・スタンダードテキスト」の重要ポイントを明記します。
演習として「夏期Option講座」もあります。詳しくはP10をご覧ください。

基本書（使用教材）

※最新版を各自ご用意ください。

商法（会社法）：高橋美加ほか『会社法』（弘文堂）
民 事 訴 訟 法：和田吉弘『基礎からわかる民事訴訟法』（商事法務）
刑 事 訴 訟 法：宇藤崇ほか『リーガルクエスト刑事訴訟法』（有斐閣）
行　　政　　法：櫻井敬子・橋本博之『行政法』（弘文堂）

対象者

1年目の入門講座で憲法・民法・刑法の基礎知識を身につけた2年生が主な対象ですが、1年生の時に独学した方や、法学部以外の学生も歓迎します。

実施会場

明治大学和泉キャンパス
〈水曜日・金曜日〉第一校舎209教室
※但し、都合により、時間・場所が変更となる場合がございます。

無料体験受講

4/11（金）の体験講義は、講座の申込みいかんにかかわらず、すべての方が受講できます。お申込みを迷っている方はぜひ受講してみてください。

参考書（新・スタンダードテキスト）

入門講座だけでなく、法科大学院入試や基礎学力強化のために使用できるテキストです。初学者のうちは、学習項目の中で何が重要か判別することができないものですが、本テキストを見れば一目瞭然、重要な部分を中心に書かれています。
聴講することを前提に、重要ポイントをノートのように記していますので、別に自分のノートを書き取る手間がかからず、講義に集中できます。
基本書を読んで講義に臨み、スタンダードテキストで復習・まとめをすれば完璧です。

商訴行政入門講座スケジュール（全日程17:30～20:30）

講座	回数	講義日	曜日
無料体験受講	1	4月 11日	金
商法	1	4月 25日	金
	2	4月 30日	水
	3	5月　7日	水
	4	5月　9日	金
	5	5月 14日	水
	6	5月 16日	金
	7	5月 21日	水
	8	5月 23日	金
	9	5月 28日	水
	10	5月 30日	金
	11	6月　4日	水
	12	6月　6日	金
	13	6月 11日	水
	14	6月 13日	金
民事訴訟法	1	6月 18日	水
	2	6月 20日	金
民事訴訟法	3	6月 25日	水
	4	6月 27日	金
	5	7月　2日	水
	6	7月　4日	金
	7	7月　9日	水
	8	7月 11日	金
	9	7月 16日	水
	10	7月 18日	金
	11	9月 24日	水
	12	9月 26日	金
刑事訴訟法	1	10月　1日	水
	2	10月　3日	金
	3	10月　8日	水
	4	10月 10日	金
	5	10月 15日	水
	6	10月 17日	金
刑事訴訟法	7	10月 22日	水
	8	10月 24日	金
	9	11月　5日	水
	10	11月　7日	金
	11	11月 12日	水
	12	11月 14日	金
行政法	1	11月 19日	水
	2	11月 21日	金
	3	11月 26日	水
	4	11月 28日	金
	5	12月　3日	水
	6	12月　5日	金
	7	12月 10日	水
	8	12月 12日	金
	9	12月 17日	水
短答知識実力診断テスト		12月 19日	金

受講料（税込）

2年生基本マスターセット【商訴行政4科目セット+憲民刑基本3科目ミニ答練（夏期講座③）】		¥80,600
商訴行政4科目セット		¥78,800
科目別	商　法	¥30,600
	民事訴訟法	¥24,300
	刑事訴訟法	¥24,300
	行政法	¥17,800
1年で法律7科目基本マスターセット【1年生基本マスターセット+2年生基本マスターセット】		¥161,900

※セットでのお申込みがお得です。　※「新・スタンダードテキスト」代込み、基本書代別。
※1年で法律7科目基本マスターセットは憲民刑入門講座と商訴行政入門講座を同時に受講するコースです。（週4回）
※上記の金額とは別に、入会費および年会費が必要です。

入門講座には積極的に学習を進めたい方のために、「夏期Option」が設定されています。

入門講座は、講義中心の講座であり、論文を書く力を養うために、数回の演習を別途「夏期Option」として用意してあります。演習といっても、受けやすいように、書き方についての講義を先に実施します。正課の授業ではありませんから、成績が残るわけではないので恐がらずに答案を書いてみてください。答案の書き方を覚えることは正課の定期試験対策としても、きっと役に立つはずです。

短答知識実力診断テスト

（科目：商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法）

あなたの基礎知識の正確性と学習到達度がズバリわかる
このテストは成績を計り他人と順位を争う為のものではありません。点数で評価をするのではなく、あなたの正確な法律知識の有無を判定するためのテストです。達成度のデータは4象限のチャートで示され、今後の学習の方向性を示唆します。

解約について

受講申込後、解約の必要が生じた場合は、和泉研究室まで連絡してください。講座開始前は、実際に支払った申込み金額から、解約金¥5,000を差し引いた金額を、講座開始後は、受講料から受講済部分に相当する受講料及び解約金¥5,000を差し引いた金額を返金します。受講済部分に相当する受講料は、実際に支払った申込金額を基礎に全体回数のうち何回を受講したか（経過分）により算出します。

バックアップ制度

法学学習支援・各種試験対策入門講座の受講生には、最新受験情報の提供をはじめ、さまざまな特典を用意しています。もちろんすべて無料。法曹を志望する明大生のためのアドバンテージです。

欠席してもだいじょうぶ!

欠席フォローサイトOPEN!

欠席してしまった講義は専用サイトからストリーミング視聴できます。他にも講義スケジュールやシラバスの確認、受験に関する最新情報を受け取ることができます。講義で配付したテキストやレジュメは和泉研究室でお受け取り下さい。

受講生へのきめ細かい対応

和泉研究室にスタッフ常駐

和泉研究室にはスタッフが常駐し、受講生への対応を行っています。当講座の申込手続や運営等に関する質問は窓口までお問い合せください。

法学部・法制研究所共催

予備試験対策答案練習講座

司法試験や司法試験予備試験に合格した明治大学法学部卒業の弁護士・司法修習生が講師となり、「論文の書き方」（答案練習）を重視した少人数のきめ細かい指導を行います。予備試験は合格率が3%台と難関ですが、予備試験合格者の司法試験合格率は非常に高く、本講座受講生からも学部在学中に予備試験、司法試験の合格者が出ています。

※詳細はOh-o!Meiji「2025年度 法学部・法制研究所共催 予備試験対策答案練習講座 実施要領」をご確認ください。

Aクラス（全23回）

主に1年生を対象とし、初めて法学を学ぶ学生向けのクラスで、憲法・民法・刑法の基本的な論文から書き方からはじめます。クラスは10～15名程度です。

Bクラス（全23回）

法学を1年以上学んだ学生向けのクラスです。主に2年生を対象としたクラスと主に3年生を対象としたクラスがあります。実際の予備試験過去問を素材として、より実践的な憲法・民法・刑法の「論文の書き方」の指導を行います。クラスは10名程度です。

Cクラス（全30回）

主に3・4年生を対象とし、憲法・民法・刑法の十分な知識を有しており、下4法（商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法）＋法律実務基礎科目について過去問を使用しながら指導を行います。2つのレベル（①初めて下4法を学ぶ者・②既に下4法の勉強を始めており、予備試験合格に近い学力を有している者）を用意しています。クラスは10名程度です。

本学校友の渡邊建三氏及び容子氏からのご寄付により、無料で受講することができます。

辰巳法律研究所との提携講座

夏期Option講座

夏期休暇期間中は、通常の講義もお休みとなります。しかし、やる気のある学生のために、
法律学習をより身近にする夏期集中プログラムを以下のように準備しました。夏休み中に実力を伸ばしましょう!

※1年生基本マスターセット（P7）には、下記❶❷を含みます。
※都合により教室が変更となる場合がございます。
※オンラインまたはオンデマンドで実施する場合があります。

※2年生基本マスターセット（P9）には、下記❸3科目一括を含みます。
※いずれも税込の受講料です。

❶「判例百選」読み方講義（科目：民法）　メディア棟M302教室

判例学習の定番図書である「民法判例百選I」（有斐閣）をテキストとして、その中でも重要な判例を講師とともに読んでみましょう。判例についての学習は、法律学習の中でも大きなウエイトを占めていますが、この講義で判例百選の読み方を身につければ、独力での判例学習が苦にならなくなるはずです。

回数	講義日	曜日	時間	受講料	講師	備考
1	9月1日	月	10:00～13:00	￥5,300 （テキスト代別）	天野 直樹 先生	全6時間（3時間×2日間）
2	9月2日	火	10:00～13:00			

❷短答演習確認テスト（科目：民法）　メディア棟M302教室

司法試験、司法試験予備試験、法科大学院入試、そして公務員試験、司法書士試験等々、法律のテストといえば短答試験が付きものです。法律学習の比較的初期から短答試験を体験して、「あやふやな知識」では短答が解けない、ということを体験してください。正確な知識こそが短答試験には必要であり、そのことに気づけば、普段の法律学習でもしっかり記憶すべきことは何か、を意識できるようになるでしょう。

回数	実施日	曜日	時間	受講料	講師	備考
1	9月4日	木	10:00～13:00	￥3,200	天野 直樹 先生	全3時間（試験40分 解説講義2時間20分）

❸憲民刑 基本3科目ミニ答練　メディア棟M302教室

「答練」とは、時間を測って法律答案を書く練習をすることです。法律を学習して間もない頃は、「まだ知識がないから（ちゃんと本を読んで記憶すべきものを記憶していないから）、答案は書けないや（将来にしよう）。」と考える人が多いのですが、資格試験等を目指していない人でも、学部試験は必ず来ます。法律答案の形は、早めに身につけておきましょう。この答練では、最初に講師が30分の講義を行い、何が聞かれているか、先に知識を与えます。その後で1時間で答案を書いてみましょう。知識があっても、制限時間内に答案として読み手に分かりやすい文章で書くことがいかに難しいかが体験できます。答案は添削して返却します。短答と同じように、答案を書く経験をすることで普段の学習で何を書けるようになるべきか、意識できるようになるでしょう。

回数	実施日	曜日	時間	内容	受講料	講師	備考
1	9月　9日	火	10:00～12:30	民法	￥9,600 3科目一括	天野 直樹 先生	各科目2時間30分 （事前講義30分 答練1時間 解説講義1時間）
2	9月11日	木	10:00～12:30	憲法			
3	9月11日	木	13:30～16:00	刑法			

※科目別申込1科目¥3,200

STUDENTS MESSAGE 和泉研究室 室生からのメッセージ

久光 佳怜
Karen Hisamitsu

法学部法律学科
法曹コース

和泉研究室に入室した理由は?

大学入学前から司法試験を受けたいと考えていましたが、自力で勉強することが困難でまた塾に通う経済力がなく諦めかけていました。そんな時に比較的安価でプロから授業を受けられる法制研究所の存在を知り、入室を即決しました。

利用した内容（講座名・講義名・指導名）とそれについての感想

憲民刑入門講座を受講しました。入室して一番初めに習ったのは民法で、人生で初めて学んだ法律科目でもありました。民法は難しい法律科目の中で唯一身近で想像がつくので、初心者にも理解しやすくすべての法律に通ずる基礎をしっかり吸収できました。続いて学んだ憲法は、民法に比べて大変難しく感じました。憲法は非常に抽象的ではっきりとした正解のない科目ではありましたが、その分いろんな解釈ができて思考をめぐらすのに夢中になれました。最後に刑法を学びました。私は刑法は法律に行為を当てはめて判断すればいいだけと考えていましたが、たくさんの判断基準があり刑罰を科すことの大変さに驚きました。講座を通して三法の概形を掴むことができました。

入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか?

週に2回3時間講座を受けるというのはすごく大変でした。しかし運営委員になったことで、毎回の講座に出席することができ講座を受けるモチベーションにもなりました。講座の内容を完璧に理解できないこともたくさんありましたが、何よりもすべての講座に出席できたという継続力が私の大きな自信につながりました。また、憲法・民法・刑法の三科目を短期間で一周できたことも大きな力になりました。憲民刑入門講座を受講していなければ、こんな短期間で三法をマスターすることは絶対にできていなかったと思います。精神的にも学習面でも自分に大きな成長をもたらしてくれた憲民刑入門講座に非常に感謝しています。

和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ったかなどをお書きください。

まずなんといっても他の司法試験に特化した塾よりも受講料が安いです。それでいて実際に法律家として活動されているプロの講師から授業を受けることができます。私が特に役に立ったと思うことは、授業を繰り返し映像で視聴できることです。講座を休んだ時はもちろん、受講中に消化できなかった時にも視聴していました。また大学の授業と講座を並行して受けるので、復習と予習がストレスなくできます。講座で使うテキストは、法律の趣旨や学説などを漏れなくすべて載せてくれているので、自習する時の確認によく使っています。法制研究所はこのように良いことづくしなので、司法試験を受けたい方や法律科目を学びたい方は入室して損はないと思います。

将来の目標や目指す進路は?

私はまず明治大学特有の制度である早期卒業生に選ばれることを目標として、日々大学の授業に出席し法律科目以外の勉学にも励んでいます。そして法科大学院に進学し司法試験合格を経て弁護士になることが最終目標です。

藤尾 真香里
Makari Fujio

法学部法律学科
公共法務コース

和泉研究室に入室した理由は?

法学部は特に勉強が大変だという噂を聞き、入学前から不安を抱いていました。新入生ガイダンスで法制研究所の説明を受け、学校の授業に先行して法律を学ぶことができることに魅力を感じて入室を決めました。

利用した内容（講座名・講義名・指導名）とそれについての感想

天野直樹先生の憲民刑入門講座を受講しました。一年間で三法（憲法、民法、刑法）を一周し、法律の実践的な考え方や知識を交えて分かりやすく説明して下さりました。特に一年間で最初に授業があった民法では法律の初学者でも理解しやすいように判例を多く盛り込んで下さり、法律のおおまかなイメージを掴むことが出来ました。はじめは授業の進度のはやさに戸惑いましたが、大切な条文を絞って重点的に学べるため効率よく勉強をはじめられました。

入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか?

法律に対する抵抗感をなくして勉強の習慣を身につけられたことが一番の成長だと感じます。入室したころは法律の勉強方法、六法の使い方すらもよく分からず、教科書を読むにも手探りの状態でした。しかし、シラバスが配布されることで一年間の見通しを立てられ、先生が毎回の授業で予習・復習の範囲を指定して下さるので一つ一つ丁寧に向き合うことで自然と勉強の習慣を身につけることができました。学校の定期試験の際も勉強の習慣を活かして対策に取り組め、とても助けられました。
　また、授業だけでなく法曹に就いたOB・OGの方々から体験談を聞いたり勉強方法を相談したりできるイベントも豊富です。入室したころは漠然と法律に興味を持っていただけでしたが、実際に法律の現場の生の声を聞くことで視野を広げられたと感じています。

和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ったかなどをお書きください。

勉強に取り組むために最適の環境が整備されていることが法制研究所の一番の魅力だと思います。室生限定の自習室が用意されていて、誘惑に惑わされることなく勉強に専念できます。また、自習室には希望者を対象としたロッカーの貸出もなされていて、重たい教科書や資料を持ち運ぶ必要なく使いたいときにすぐ取り出せることも大きな利点だと感じます。また、一年間の授業を通して志高く切磋琢磨しあう仲間にも出会えました。週に二回の法制研究所の授業は正直逃げだしたくなることもありましたが、互いに励まし合いモチベーションを保ちながら楽しんで勉強に取り組むことが出来ました。

将来の目標や目指す進路は?

私は法曹を目指すわけではありませんが、法制研究所の授業を通して培った法的思考を活かして社会に貢献していきたいです。

小野 公平
Kohei Ono

法学部法律学科
国際関係法コース

和泉研究室に入室した理由は?

(今は少し変わってしまいましたが、)身近なのに意外と難解な法を、分かりやすく伝えられるような弁護士になりたい!と思ったことがきっかけです。また、大学の慣れない法学の授業に不安を覚えたため憲民刑入門講座で自学だけではわからない部分を無くしたいと考えました。

利用した内容（講座名・講義名・指導名）とそれについての感想

天野直樹先生の憲民刑入門講座を受講しました。法制研究所の講座では実務に携わっている弁護士の先生が講師をされています。実務の豊富な経験からの様々な知識を交えた講義をしてくださるため、実務でも特に重要な事項についてよりイメージがしやすく、とても分かりやすいです。大学の授業は高校の授業などと比べて専門的な分野を扱うものですが、ペースが速く、また量も多いため、なかなか初めのうちはついていくのでやっとだと思います。この憲民刑入門講座はそのベースとなる知識をもう一歩ハイレベルなものにし、法学の論理的思考を身につける手助けになりました。

入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか?

憲民刑の三法に関する知識や論理的思考が身についてきたのはもちろん、日頃目にするニュースの政治問題、社会問題、人権問題、といった議論の的となるような話題についても多角的な見方をするようになったと思います。法が一方の権利・利益のためでなく、第三者的に中立な立場から判断するという前提はどんな議論にも重要なことです。日常に溢れる対立を、法的思考を以て考えられるということは冷静な判断につながります。憲民刑入門講座ではこの法的思考の力をつけられたと思います。

和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ったかなどをお書きください。

和泉研究室の魅力はなんといっても実務家の先生を講師とする講座が受講できる点です。大学で法学を学んでいても、なかなか実際に弁護士の先生のお話を聞くことはできません。難しい三法も、実務の経験談によって具体的なイメージがつくため理解しやすくなりました。また、室生専用の自習室もとても魅力的です。キャンパス内はどこに行っても人が多く騒がしいですが、自習室はいつでも静かで快適です。また、熱心に勉強する他の室生の姿はとても励みになります。夏休みなどの長期休暇の間も利用できるため、勉強場所としてとても良い環境です。

将来の目標や目指す進路は?

憲法の人権分野が好きなので、将来は国連の下部組織や国際NGOなどで人権問題を扱う仕事に携わりたいと思っています。

入室のご案内　主に学部3・4年生、学部卒業生向け　2025 明治大学 法制研究所法学学習支援・各種試験対策講座

駿河台研究室 Surugadai Laboratory

法制研究所駿河台研究室とは

法制研究所駿河台研究室は、法科大学院進学・予備試験・司法試験合格を目指す学生のために、各種講座の実施及び自習室等の学習環境の提供などを通じて、合格のサポートをする機関です。学部の講義や自学自習で培ってきた法律の基本的素養を、より実践的・応用的な能力へと高め、在籍する室生が真に実力を備えた法曹になれるようバックアップしています。

駿河台研究室に入室するメリット

3年生以上の勉強の拠点として、勉強に専念できる環境を整備しています。法科大学院進学・予備試験・司法試験合格・法曹を志す学生が集まり緊張感を持って切磋琢磨する環境は、勉強の質・量双方の確保に大変有益です。また、同じ道を志す者同士が集まることにより、情報戦の側面をも持つ法科大学院入試・予備試験・司法試験に向けてより多くの情報を互いに提供しあえる、一生の財産ともいえる仲間も増えることでしょう。また、本学出身の若手弁護士等が後進の指導にあたりますので、より実践的な能力を身に付けることができます。

駿河台研究室主催の主な指導企画

※2024年度の実績です。2025年度の企画は別途お知らせします。

事例検討（会社法・訴訟法編）

概　　要：論文作成の基本的な考え方及び基本論点の習得を目標にします。弁護士指導員が少人数の受講生を指導します。
対　　象：4年生、学部卒業生（3年生応相談）
実施日程：3回（会社法・民事訴訟法・刑事訴訟法各1回）
1回当たり答案作成・解説の計3時間
4月～5月

答案例で学ぼう（民法編）

概　　要：答案を初めて書きはじめる人のための入門編です。予備試験対策講座を受講する準備段階として、基本的な判例・論点・条文構造等を学習し、それを答案にまとめる力を養います。問題を検討しながら、弁護士指導員が作成した答案例を元に、基本的な知識、問題分析の方法、答案書き方などの指導を受けます。
対　　象：2年生～4年生
実施日程：5月～8月（週1回）

事例検討（憲・民・刑編）

概　　要：法科大学院入試対策として事例問題を出題し、合格答案を作成できるようにすることを目標にします。少人数で実施し、実際に受講者は論文を作成し、弁護士指導員による添削を受け、受講生同士で互いの答案を検討します。
対　　象：3年生
実施日程：1回当たり2時間（憲法・民法・刑法を中心に出題）
9月下旬～12月中旬

法科大学院入試対策直前論文ゼミ

概　　要：法科大学院入試の対策を目標にした講座です。弁護士指導員または司法試験合格者が指導員となって、受講者のニーズに合わせて、少人数で答案を指導します。
対　　象：4年生、学部卒業生、早期卒業を希望する3年生
実施日程：5月下旬～7月上旬

個別指導（有料:500円（税込）／時間（1人））

概　　要：各自のレベルに合わせたきめ細やかな指導を行います。学力の向上を図ることを目的として、マンツーマンでの学習指導や受験相談を実施します。
対　　象：3年生・4年生・学部卒業生
実施日程：週2日程度（通年実施・平日のみ）
1回1時間で月4回まで利用可（事前予約制）

室生特典

- 弁護士指導員・司法試験合格者指導員による企画講座を無料または割安で受講できます。
- 辰巳法律研究所との提携講座を割安で受講できます。
- 司法試験予備試験・予備試験短答式試験に合格した学部生及び司法試験合格者に対して報奨金を授与します
- 固定席制の自習室があります（有料）。

VOICE 室生の声

入試の情報はもちろんのこと、すでに法科大学院に通っている先輩から大学院の実態を聞けたり、予備試験を受験した人から情報を聞けたり、OB・OGの修習生・弁護士から法曹界の情報を頂くことができ、自分の進もうとしている道をきちんと把握できた。

図書館が開いていない日や早く閉館する日でも利用でき、重い教科書類も置いておくことができる自習室で落ち着いた学習環境を確保でき有益であった。

みんなが同じ目標に向かっているため、先輩方も親身に相談に応じてくれるので、勉強していく励みになった。

OB & OG MESSAGE 法制研究所 卒業生からのメッセージ

［弁護士］千葉 智達 さん

Tomoyoshi Chiba

出身大学：明治大学法学部法律学科／2020年早期卒業

法制研究所の活用法とメリット

法制研究所においては、司法試験予備校の辰巳法律研究所と提携した講義や司法試験に向けた基礎演習等のゼミを受けることができるほか、個人で勉強したい際には自習室を利用することができます。私も学生のときにこれらを上手く活用し、在学中に予備試験、司法試験に合格することができました。
基礎演習等のゼミや辰巳法律研究所との提携講義では、憲法・民法・刑法といった司法試験や学部試験において必修である法律について、法律の構造や内容などの基礎的な内容や実際の適用例などを学ぶことができます。法律はとても勉強が難しいですが、ここでは弁護士が基礎からわかりやすく説明してくれるので、司法試験の合格を目指したいと考えている人だけでなく、学部で良い成績を取りたいと考えている人や純粋に法律を勉強したいと考えている人などにも、貴重な場になると思います。
また、法制研究所で利用できる自習室は、法律試験の問題集等を借りることができるなど、勉強するのに良い環境が整っています。
このように、法制研究所においては、勉強をする上で必要なものが整っているので、法律試験の勉強をしたいと考えているのであれば、活用を検討してみてはいかがでしょうか。

現在の仕事について

私は、司法試験合格後に司法修習の期間を経て、大学を卒業した年の12月より、都内の事務所にて弁護士として働いています。扱っている内容としては、離婚や相続などの家事事件や、借家トラブルや交通事故などの一般民事事件、企業の契約書チェックなど幅広い内容を扱っています。
この仕事は、民法以外にも様々な法律が問題となるため、必要となる法律等の知識の範囲が広範であり、勉強が大変ですが、その分、様々な知識を身につけることができ、また、得られる達成感も大きくなります。
また、隣人トラブルに悩まされている、家族関係で悩んでいる、この契約内容で不利にならないか心配であるといった、法的な問題で困っている様々な人の手助けをすることができ、非常にやりがいを感じられる仕事です。
その他にも、この仕事には、自身がトラブルに巻き込まれた際にも対応の仕方がわかるといった実益があったり、働き方の面でも柔軟に対応できたりするなど、様々な魅力があります。ここでは全てをあげることはできませんが、弁護士という仕事は、試験が大変ではあるものの、目指してみる価値は十分ある仕事だと思いますので、司法試験を目指すか少しでも迷っている場合には、まずは勉強を始めてみると良いと思います。

［弁護士］笠原 菜摘 さん

Natsumi Kasahara

出身大学：明治大学法学部法律学科／2018年早期卒業
出身法科大学院：明治大学専門職大学院法務研究科（法科大学院）／2020年修了

法制研究所の活用法とメリット

私は、入学当初、漠然と敷居が高いような感覚から法曹を志望するか決めかねていました。しかし、何もしないよりは良いだろうと考え、入門講座を受講することにしました。
入門講座は、予備校と提携した弁護士による講義なので、論証を意識した解説を受けることができますし、実際に予備校へ通わずとも、受験勉強の雰囲気を体感することができました。また、講義の内容や使用する教材は大学の授業の予習・復習にも大いに役立ち、学部の成績にも良い影響がありました。
3年次は、大学院進学に向けて、弁護士指導員による答練を受講しました。定期試験以外に答案を書く機会のなかった私は、出来の悪い答案を何通も提出していましたが、弁護士指導員の先生は、各受講生のレベルに合わせた解説や答案添削をしてくださるので、答案の型や作法を少しずつ習得することができました。
早期合格を目指して受験勉強を始めたい人にはもちろん、私のように、法曹を志望するか悩んでいる人にも、後悔のないよう前向きに法制研究所の活用を検討してほしいと思います。

現在の仕事について

私は、現在、千葉県内の法律事務所に勤務しています。業務としては、少年事件や裁判員裁判対象事件を含む刑事事件や離婚、相続等の家事事件、その他一般民事事件を扱っており、特徴的な業務としては、医療過誤事件も取り扱うことがあります。弁護士登録をして約3年になりますが、法制度はもちろん、関係者とのコミュニケーションの取り方や一つの事件への見方や考え方の違い等、毎日ありとあらゆる新しい学びがあります。壁にぶつかることもたくさんありますが、新鮮な気持ちで、かつ各々が創意工夫をして自由に仕事ができることは、他にはない法曹の魅力だと感じます。
また、明治大学専門職大学院法務研究科に補助講師として所属しており、受験指導にも当たっています。司法試験は、合格に向けた勉強を積み重ねていけば合格できる試験です。法制研究所の指導員や補助講師は、受験生の勉強の方向性を合格に向けて導く役割を担っていますので、勉強方法も含めて気軽に相談できる環境に身を置くことが、合格への近道だと思います。
実務は、司法試験や司法修習を経ただけでは分からないことばかりですので、その度に文献を読み、先輩に学び、日々仕事をしています。受験生の頃と同様、日々実直に勉強をしながら職務に当たることが大切だと感じます。法制研究所に入る人にはそのような素質があると思いますから、まずは司法試験の合格に向けて頑張ってくださいね。

※メッセージ文中にある講座名称・内容は、OB・OGが在学中に受講した当時のもので、現在と異なる場合があります。